2023年10月26日(木)~12月15日(金)

(附属三浦記念図書館2階)会場/中部大学民族資料博物館

主催/中部大学民族資料博物館

中部大学民族資料博物館

[開館時間]9:30~16:30(入場は閉館の30分前) [入場料]無料

[休館日]土曜・日曜・祝日・年末年始・大学が定める休日(行事開催日は開館予

# 松浦コレクション LINE UP



《祭礼の仮面》

(コートジボワール周辺) 想定

〈祭礼の仮面〉 3 ヨルバの人びと (ナイジェリア) 想定



〈祭礼の仮面〉 ダンの人びと

(コートジボワール、

リベリア国境) 想定

〈精悪像〉 バンバラの人びと (マリ) 想定



ファンの人びと (ガポン) 想定

> 《祭礼の杖》 ヨルバの人びと (ナイジェリア) 想定

〈精霊像〉 バガの人びと (ギニア)想定

#### PROFILE

# 松浦晃一郎(1937-)

第8代ユネスコ事務局長・ 学校法人中部大学学事顧問

山口県出身。東京大学法 学部在学中に外交官試験に 合格し外務省へ入省。

1961年にハヴァフォード

大学(アメリカ)卒業とともに、同年にアフリカの ガーナ日本大使館に外交官として着任(セネガルを 除く西アフリカの独立国10ケ国を担当)。これを機 にアフリカの歴史文化に関心を寄せ、仮面等の収集 を始める。その後、香港総領事、北米局長、外務審議官、 駐フランス大使等を歴任した後、1999年に、アジア 初のユネスコ第8代事務局長に就任。2期10年の任期 中のアフリカ訪問は、53ケ国中、実に52ケ国にのぼる。 戦後のアフリカは独立、民族間の抗争や内乱で混乱 する国も少なくなく、復興の土台として伝統的な祭 礼の保存に民族精神の拠りどころを求める声に松浦 は直に触れた。ユネスコを通じ無形文化財を保護す る国際的な枠組み作りの重要性を訴え、2003年、つ いに「無形文化遺産の保護に関する条約」が採択さ れる。これらの木彫像たちは、「ユネスコ無形文化 遺産」が多くの人びとの願いが結集した末に誕生し、 そのなかに一人の日本人が奔走した日々の記憶を投 影する存在でもあった。



#### ► ABOUT MATSUURA COLLECTION

### 松浦コレクション

中部大学の松浦コレクションは、松浦晃一郎が外交官時代からユネスコ事務 局長時代にかけてアフリカ各国を訪れた際に、現地で収集した祭礼用の仮面等 の木彫約130点の資料群である。中部大学には複数回にわたり寄贈を受け、本 展示では、近年の受入れ資料を中心に展示する。

アフリカ大陸のなかで、祭礼で仮面を用いる文化がみられるのは、主に赤道 直下の熱帯気候の密林地帯の地域に多く集まっているという。深い森は、長い 間外部からの侵入を防ぎ、特有の精霊を信仰する伝統宗教を育んだ。松浦コレ クションについては、特に西アフリカに関わるものが多いと推定され、本展示 では、ギニア湾沿岸西部、同東部、および内陸部の主に3つのエリアごとに特 徴的な資料を紹介する。祈りのために仮面に刻まれた素朴な表情は、「生」や「死」 への畏怖が込められ、どれも味わい深く、いつのまにか民族や言語の境界を越 え「ヒト」の原点の存在性が提示されているかのような力強さとなって、観る 人を惹きつけてやまない。

#### 民族資料博物館の常設展示

中部大学民族資料博物館では、常設展示のアフリカ地域のコーナーにて松浦 コレクションを展示紹介していますが、本企画展は、この常設展示とは別に、 新たに寄贈を受けた新資料をメインに別室の企画展会場にて一堂に集めてご覧 いただきます。

## 中部大学民族資料博物館

〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200番地(附属三浦記念図書館2階) TEL 0568-51-9193 FAX 0568-51-9194

ホームページ https://www.chubu.ac.jp/student-life/facilities/museum/ E-mail minzoku@office.chubu.ac.jp

#### **ACCESS**

交通のご案内/ JR中央本線「神領」駅下車、 名鉄バス「中部大学前 | (約10分)下車すぐ

